

要旨

若者とビール

―酒類業界の動向から読み解くビール離れの現状と

今後の展望―

年代を問わず多くの人に支持されてきたビールだが、近年では若者の間でビール離れが進んでいる。要因として、若者たちが過ごしてきた時代背景や、それにより形成された価値観が影響を与えていると考え、事前調査をもとに3つの仮説を提起した。仮説を検証するため、20歳から29歳以下の男女にアンケート調査を実施。調査の結果、「1.将来に対する不安を抱える若者や消費に消極的な若者が増えたことで、ビール類で最も値段が高いビールが若者から選ばれなくなった。」、「2.集団から個人の時間を大切にするなど、コミュニケーションの在り方や考え方が変化したことにより、若者からビールが選ばれなくなった。」、「3.酒類の多様化によりビール以外の選択肢が増えたことで、若者からビールが選ばれなくなった。」ということが明らかになった。若者のビール需要の低下は明らかだが、クラフトビールの普及や酒税額の改正などで、決して暗い未来が待ち構えているだけではないだろう。